

「日々の理科」(第2109号) 2020-4.18
水彩画教室「ありがとう新十津川駅」
お茶の水女子大学附属小学校教諭
お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員
田中 千尋 Chihiro Tanaka

JR北海道の札沼線(さっしやうせん)の終着駅「新十津川駅」(しんとつかわえき)が この4月17日に約90年の歴史に幕を下しました 私は大学生の時に一度だけこの駅に行ったことがあります 滝川駅からこの駅まで歩き 札幌行の列車に乗りました 私一人しか乗っていませんでした 廃止前はこの駅に来る列車は一日に一本だけ「日本一早い最終列車」と言われていました 5月7日がお別れ運転の予定だったのですが 感染症の影響で前倒して廃止されてしまいました 最後に行けなかったの 思い出の一つに描きました



これが完成した絵です



1、背後の落葉松は 北海道の駅らしさを表現するのに 大切なものです



2、常緑針葉樹も描いておきます「シャドウ・グリーン」という色を基本に描きます



3、古くたびれた屋根の表現 新しい屋根よりも 古い屋根のほうが難しいです



4、駅の入口はよく観察して描きます 駅名板の文字は丁寧に書きたくなりますが できるだけ目立ち過ぎないようにします



5、停車中の気動車 ドアが開いている様子が意外と難しいです



6、寒冷地独特の小さな窓の車両の特徴が大切です